

吉井川・旭川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 第2回協議会 議事概要

日時：平成28年10月27日（木） 14:00～15:00

場所：岡山県商工会議所 4階 大会議室

【出席者】

岡山市長	代理：下水道河川局審議監
倉敷市長	代理：技監
総社市長	代理：総務部長
備前市長	代理：副市長
瀬戸内市長	代理：副市長
赤磐市長	代理：建設事業部長
和気町長	代理：総務部危機管理室長
早島町長	代理：副町長
岡山県 危機管理監	代理：参事
岡山県 土木部長	代理：河川課 副課長
気象庁 岡山地方気象台長	
国土交通省 岡山国道事務所長	代理：管理第二課長
国土交通省 苫田ダム管理所長	欠席
国土交通省 岡山河川事務所長	

【報道】

NHK岡山放送局、建通新聞社

【主な発言内容（発言順）】

・意見交換

瀬戸内市：取組方針に示されている広域避難計画やハザードマップの作成手順など具体的なものが決まっているのか、御教示頂きたい。

岡山河川：現在、想定最大規模の浸水想定区域図について検討を行っている。自治体が作成公表するハザードマップには、これを反映して頂きたい。その際には、岡山河川事務所で支援する。なお、まだ公表については未定であるが、取組方針（案）に示しているように、公表後には、取り組みの目標に示しているように、水防災意識社会の実現に向け、早期にハザードマップの作成に取りかかって頂きたい。

瀬戸内市：現在使用しているハザードマップを更新することでよいのか。

岡山河川：現在はそうのように考えている。想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図では、現在対象としている計画規模の浸水想定区域図よりも浸水深が大きくなる。現在設定している避難場所の安全性の確認や広域的な避難の必要性を検討する必要があると考える。

倉敷市：今年度、公表予定の想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づいて、今後のハード・ソフト対策を実施していくということか。

岡山河川：公表は年度内を予定しており、公表後取組方針を見直していく。想定される最大規模といった発生頻度の極めて低い洪水と計画規模の洪水の両方について、ハード・ソフト対策を、協議会で知恵を出し合って推進したいと考えている。